

住化カラー株式会社の株式取得 および 持株会社体制への移行について

2024年3月1日

日本ピグメント株式会社

目次

Contents

I. 住化カラー株式会社の株式取得(子会社化)に関して

1. 本件取引の概要
2. 異動する子会社(住化カラー株式会社)の概要
3. 両社の沿革～経営理念及び経営基本方針

II. 経営統合の背景

1. 外部環境の変化
2. シナジー効果
 - ・ 人財
 - ・ 技術力
 - ・ 商品開発
 - ・ 生産性

III. 持株会社への移行について

1. 持株会社体制への移行の背景と目的
2. 持株会社体制への移行方法
3. 持株会社体制への移行時期および今後の見通し

I. 住化カラー株式会社の株式取得(子会社化)に関して

住友化学株式会社より住化カラー株式会社の株式を取得、子会社(特定子会社)化

対象会社	住化カラー株式会社
取得株式数 (注)	18,919,742 株
取得価額	11億3千万円 (概算)
資金手当て	自己資金及び金融機関からの借入を予定
株式譲渡契約書締結日	2024年3月1日
株式譲渡予定日	2024年4月30日 (予定)

(注) 本締結契約後、住化カラーが住友化学を引受人とする 5,850百万円の増資を行う予定であり、取得株式数は増資後の株数になります。

名称	住化カラー株式会社
所在地	大阪府大阪市中央区高麗橋4丁目6番17号
代表者	代表取締役社長 児島俊郎
事業内容	各種合成樹脂用着色剤マスターバッチおよびコンパウンド等の製造・販売
資本金	413百万円
設立年月日	1950年9月4日
2023年度3月期 売上高	約131億円（2023年3月期個別売上高）



久住商店設立(1923)
住化カラー株式会社に社名変更(1973)



輸入顔料工業薬品の販売を目的として三輪商店を設立(1925)
日本ピグメント株式会社に改組(1949)

沿革

1920's
1940's
1970's

経営理念及び経営基本方針

現在

- 私たちは、仕事を通じて生活文化の向上に貢献することを誇りとし、時勢の変化、社会の要請に進んで対処します
- 私たちは、信用を重んじ着実を旨とし、一致協力して人・企業ともに成長発展することを目指します
- ・顧客第一主義の徹底
- ・技術重視の事業展開
- ・成長分野への参入推進
- ・持続的な成長基盤の確立
- ・省資源思考の事業展開

- 色彩を通じてゆとりある生活をみなさまに提供し社会の繁栄に寄与します
- グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します
- 技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します
- 個性溢れる人材を教育し創造性豊かで活力ある企業集団を目指します

Ⅱ.経営統合の背景

高度で急速な変革が求められる時代へ

Change&Evolution
"2025"

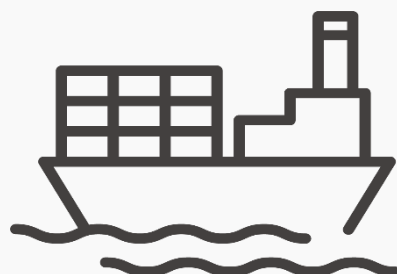
対処すべき課題



- ・労働人口の減少
- ・賃上げ圧力の強まり
- ・働き方の時代変化



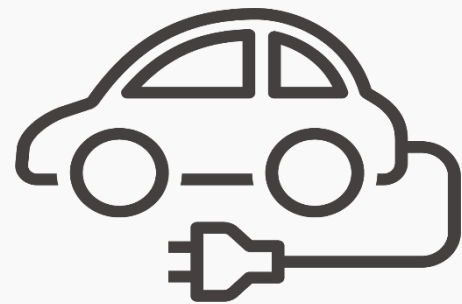
- ・エネルギーコスト高騰



- ・輸入原料の高騰
- ・想定為替との乖離
- ・地政学リスクの高まり



- ・持続可能な社会実現
に対する責務



- ・市況の変化

次の100年に向けた
持続的な成長へ

AI,DX/GXの促進

SDGsの取り組み強化

相乗効果と効率化を生み出す

人財

人材交流による成長促進

**4つの
化学反応**

生産性

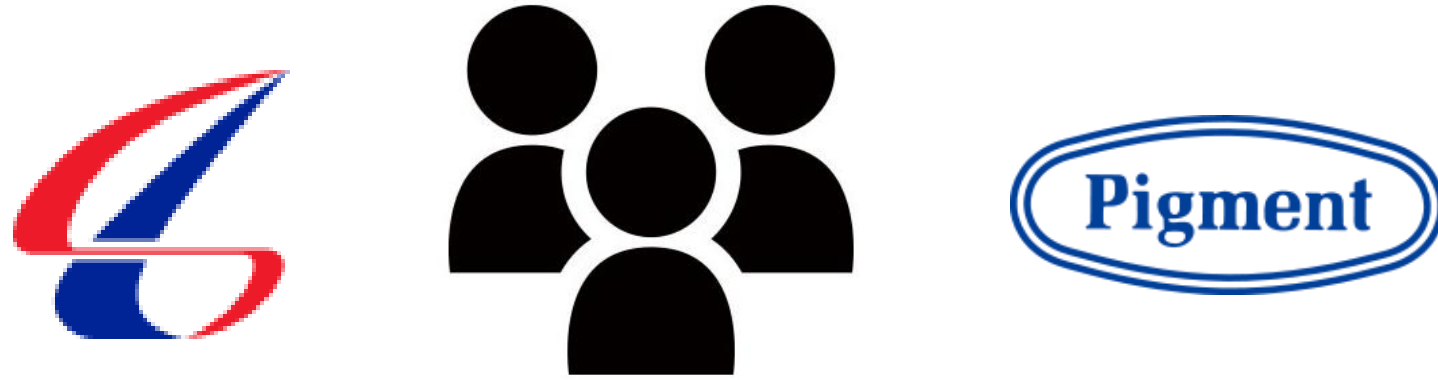
AI,DX/GXの導入

技術力

開発スピードのアップ

商品開発

多様な需要への対応



新しいアイデアが生まれる機会の創出

相互交流による新たな発見で既存事業の課題をブレイクスルー

両社人材の最適配置による能力最大化

重複する機能を一体化、重要リソースの最適配置が実現

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

あらゆる立場の従業員が働く喜びを実感し、会社とともに成長できる



次の100年を生き抜くための人財を育成

Since 1923~



住友化学グループの一員として、**化学に裏打ちされた製品、製造技術**により持続可能な社会の実現に貢献することを目的に高度な**技術力**及び**開発力**を持ち合わせた**樹脂用着色剤**の製造販売を主力としている**国内外**に事業展開

Since 1925~



プラスチックの**着色加工**、**樹脂用着色剤**の製造を主力樹脂業界の発展とともに**国内に限らず海外にも進出するグローバル企業**としての礎を築き、長年にわたり蓄積された当社グループのコアテクノロジーである**配合技術・分散技術・生産技術**を強みに事業を展開



両社100年に渡り培った技術力の交差

新たなリーディングカンパニーへの進化



独自の深い 商品設計・開発力

着色剤・機能材マスターバッチ
開発を独自の深い
設計・開発力で進化させ続ける



幅広いニーズをつかむ 開発・マーケティング力

樹脂コンパウンドのみならず
高分散型液体分散体や
ペースト、リキッドカラーで培われた
幅広い分野での設計・開発力

深さと広さの融合
AI,DX/GXへの重点的な経営資源の投入



市場や顧客を起点として継続的に新たな価値を創造



1. 経営統合の背景
2. シナジー効果
・生産性

国内・海外拠点の 最適配置の実現

- ・生産性改善
- ・調達力強化
- ・価格競争力強化
- ・供給安定性(BCP)の強化

[国内]

<関東地区>

- 東京本社
- 🏭 千葉工場(千葉県袖ヶ浦市)

<関西地区>

- 大阪本社
- 🏭 大阪工場(兵庫県伊丹市)

[海外]

<東アジア地区>

- 🏭 上海金住色母料有限公司 (中国)
- 🏭 住化佳良精細材料(南通) 有限公司 (中国)
- 🏭 大恭化学工業股份有限公司 (台湾)

[国内]

<関東地区>

- 東京本社・支店
- 🏭 埼玉川本工場
- 🏭 東京ピグメント
- 🏭 埼玉児玉工場

<関西～中部地区>

- 大阪支店
- 🏭 大阪工場
- 🏭 大阪ピグメント
- 名古屋支店
- 🏭 名古屋ピグメント

[海外]

<東アジア地区>

- 🏭 天津碧美特工程塑料有限公司(中国)
- 🏭 上海新素材特种聚合物有限公司 (中国)
- 🏭 NPK Co.,Ltd. [Pyeongtaek Plant] (韓国/平澤)
- 🏭 NPK Co.,Ltd. [Gumi Plant] (韓国/亀尾)

<東南アジア地区>

- 🏭 P.T. Nippisun Indonesia [FACTORY I] [FACTORY II] (インドネシア)
- 🏭 Nippon Pigment(M)Sdn.Bhd. [Shah Alam Plant] (マレーシア/シャーラム)
- 🏭 Nippon Pigment(M)Sdn.Bhd. [Penang Plant] (マレーシア/ペナン)

Ⅲ. 持株会社への移行について



当社グループの更なる事業拡大及び企業価値向上実現のため、持株会社化による

- グループ経営戦略推進機能の強化
- 権限と責任の明確化による意思決定の迅速化

が最善策であるという認識のもと、**2024年10月1日を目処に持株会社体制への移行**に向け検討開始します

合わせて、持株会社設立により、本日の取締役会で子会社化を決議した住化カラー株式会社と
当社のブランドを生かし、**相乗効果の早期実現**を図ります

当社（日本ピグメント株式会社）を吸収分割会社とし
新たに設立する分割準備会社（商号未定）を吸収分割承継会社とする吸収分割により事業を継承



吸収分割方式により事業を継承

分割承継会社として新設
分割準備会社(事業子会社)

※ 本件持株会社体制への移行は、2024 年6月27 日に開催予定の当社定時株主総会で
定款変更に関する関連議案の承認、及び事業継続にあたり必要となる各種許認可等取得が前提

持株会社化の方法は、会計、税務、法務等の観点やその他各種手続等精査・検討の上、最適な方法を今後決定してまいります

当社の株主である皆様が保有することとなる持株会社の株式について引き続き上場が維持される方法で実施する予定です

● 持株会社体制への移行時期

分割準備会社設立承認取締役会	2024年3月1日
分割準備会社の設立	2024年4月上旬（予定）
吸収分割承認取締役会	2024年5月中旬（予定）
吸収分割契約締結	2024年5月中旬（予定）
吸収分割契約承認定時株主総会	2024年6月下旬（予定）
吸収分割の効力発生日	2024年10月1日（予定）

● 今後の見通し

持株会社体制への移行に関する詳細は、現時点で未定であり、今後具体的に検討してまいります
詳細につきましては、決定次第改めてお知らせいたします



次の100年を リードする企業へ

—新たな価値を生み出し、社会に貢献—

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります